

## 5月25日の週の美術科課題について

2年生の新しい美術科課題はありません。

授業でおこなうメタルレリーフの、教材付属のかんたんな制作の流れをのせます。手順を確認しておいてください。

**1** 下絵をカーボン紙で、彫刻板に写し、彫っていきます。部分的に深く彫りすぎたり、角ばっているところに、アルミ箔を貼ると、やぶれやすいので気をつけましょう!



**ポイント** 角ばった所は彫刻刀や紙やすりで削って丸くしてやるとよい。



削る部分  
彫刻板  
断面図

**2** 彫刻板の全面に、木工用の接着剤をぬり、指でいねいに平均にのばします。アルミ箔の紺色の面を上にし、すぐにのせ全体に貼っていきます。



紺色の面を上にする。

**ポイント** 一度しわがついてしまうと、もとのばせないので注意する。

**3** 指で押さえると、ツメでアルミ箔がやぶれてしまうので、柔らかい布やティッシュなどで表面をゆっくりと押さえながら、凸凹をはっきり浮き立たせていきます。

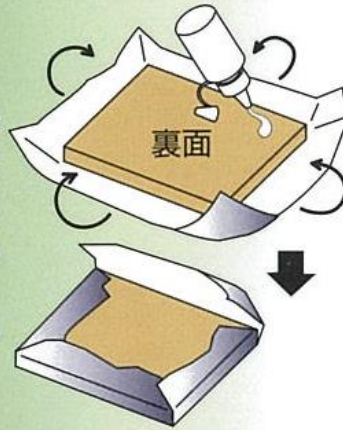


**ポイント** 細かいところは、先の丸いヘラのようなものやボールペンのキャップを使うとよい。



# 4

空気が入らないように、アルミ箔をピッタリと密着させたら、アルミ箔の先の余分な部分は彫刻板の裏面に巻き込み、はがれないように側面と裏面のふちに、木工用の接着剤をぬり、くるむようにしてしっかり貼ります。



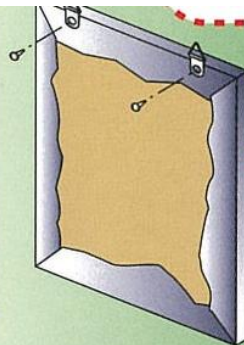
# 5

まず、付属のスチールウールで、全体の調子をみながら、表面を少しずつ軽く磨きだしていきます。(アルミ箔の表面を削り濃淡をだすことにより表現します。)仕上げに研磨材(コンパウンド)を柔らかい布につけ、磨いていきます。



**ポイント**

磨き方を加減して、遠近感や立体感を表現してみましょう。一度に磨き込んでしまうと、後で表現が変えられなくなるので注意してください。



# 6

できあがり!  
吊り金具を  
つければ壁にか  
けられます。